



社会福祉法人 岡山子ども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいわ児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家

〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704



あんず	こぶし・かりん	もみじ
7月 特になし	7月 特になし	7月 18日(土) 土曜療育(要申込)
8月 8日(土)~23日(日)	8月 21日(金) 避難訓練	8月 1日(土) 29日(土) 土曜療育(要申込)
小学校夏休み 8日(土)、29日(土)		21日(金) 避難訓練
土曜療育		24日(月)~28日(金) 誕生会週間
根っこの広場共通行事		
8月13日(木)~15日(土) 閉所		

ねっこクイズ!

昔、モーニング娘の市井紗耶香のことが、一時期、気になっていたのは誰でしょうか？



①平中健 ②土屋勇氣 ③金光翔太郎

※答えは来月号に掲載します。

6月号の答え

大会名は、②吉井つちのご駅伝でした。

ちなみに結果は4位でした。2年前に参加したときには5位。

順位を一つ上げることができました。

地域に根差した施設作りを目指し、根っこの広場駅伝部来年

も頑張ります！

編集後記

新型コロナウイルスの流行や梅雨の時期の集中豪雨など大変な世の中……。少しでも早く落ち着いていつも通りの日常が戻ることを期待しますが、今の大変な時期だからこそ伝えられることや意識できることもたくさんあると思います、日々子どもたちと過ごしています。

田村 奈美

おしらせ

災害に備えて -防災リュックの中身-

【自分の命を守るために】

マスク、ウェットティッシュ、体を温めるカイロや新聞紙、ペットボトル飲料や食べ物、普段飲んでいる薬など



【気持ちが安心できるために】

よく使っているイヤーマフやイヤホン、手触りのいいタオルやぬいぐるみ、好きなおもちゃの写真や図鑑、時計など

【一人で時間を過ごすために】

よくやるパズル、トランプやウノ、その他電源がなくても楽しめるおもちゃやゲーム、好きな本、白紙と色鉛筆など

【自分のことを分かってもらうために】

自分について紹介したもの(サポートブック等)、コミュニケーションのための写真や絵カード、筆記用具など

【その他あるといいもの】

懐中電灯、ラジオ、帽子、下着(紙パンツ)など



参考: 自閉症の人たちのための防災・支援ハンドブック

(インターネットよりダウンロード・閲覧可能)



『育ち合う』

蒸し暑くじめじめとした日が続いているこの頃。過ごしにくく、気分もなんとなくもやもやしてしまいがちですが、子どもたちの成長は私を晴々とした気持ちにしてくれます。

年度途中から入ったこどもの話です。他の子が4月からスタートした中、恥ずかしくて、自分から友だちに声をかけるのが苦手だったこどもが、好きなゲームのキャラクターの塗り絵をしていたところを他の子が見て一緒に始めたことをきっかけに、友だちの輪が広がっていきました。持っているペンを友だちに差し出し「これ(この色)使う?」「今は使わないかな」というお互いを思いやるやりとりをする姿も見られ、今ではキャラクターの名前を言い合ったり、塗り絵の中のキャラクターの色を教えてあげたりしながら仲良く遊んでいます。

私たちは関わる方法を子どもたちに伝えますが、それを自分自身のものにしていくのはこども一人ひとりの力です。こどもはこどもの中で育ち合う。人は人と関わることによって成長していくのだと、子どもたちが気付かせてくれました。

もみじの家 松田 枝里子



國安 留美子
(かりん・あんず)

自転車ダイエット中です。近所にはなるべく自転車でかけています。効果のほどはともかく、気分は爽快です。



池田 亜也乃
(もみじ)

ロックバンドのWANIMAにはまっています! テンションをあげたい時や出勤前によく聞いています。

生きる力を育もう



根っこを育てる
みんなの広場

ホームページ



こぶし・かりんの家

『つながり』

学校も学年も違う子どもたちが、一緒に生活しています。いろいろなつながりが生まれています。
堀 玲子

こぶしの花

春先に所庭のこぶしの木に白い花が咲いているのをみつけたAさん。「みてー。お花が咲いたよ。よかったねー」といいました。ほっこり。あたたかい気分になりました。



ホームページ

あんずの家



『グループ課題』

2～3グループに分け、それぞれ違った課題に取り組んでいます。(SST、短期記憶、文章作り、物語の内容把握、季節の概念等)

松本 瑞穂

おやつ時のこと。「おかわりある?」「おかわりしてもいい?」「何個までいい?」たくさん食べたい気持ちをグッとこらえ、みんなの分も考えている言葉に嬉しくなりました。



もみじの家

『他の人に興味をもって』

同じグループの子の持ち物をよく覚えていたり、友だちの名前を呼んだりしています。体操の時には、自然と友だち同士で手を繋ぎ、おやつ時には「はい、どうぞ」とコップを渡す姿が、とても微笑ましいです。 岩本 かおり

ある給食後の出来事です。

こども「ねえねえ、ピーマン食べたよ!」
職員「食べられたね。すごいね!」
しかし、その子が食べることができたのは、ピーマンではなく『オクラ』でした。



ホームページ



ねっこ なんでも紹介



相談支援事業 わたぼうしって?



今回は、根っこの広場の事業のひとつ《相談支援事業 わたぼうし》についてご紹介します。

《Q&A》

相談支援専門員 原田 和江

相談支援 わたぼうしってなに?

障がいのある方やお子さん、そのご家族からの困りごとなどをお聞きし、必要な福祉サービスの利用計画や地域で生活できるようにどうしたらいいかを一緒に考え、サポートしていく事業。根っこの広場では〈相談支援専門員 原田〉がお受けしています。

相談支援専門員って普段どんなことをしているの?

サービスを希望される方への聞き取り、計画作成、居宅訪問、事業所訪問、各事業所や機関との連絡調整、会議等のマネジメント、福祉サービス利用にかかる計画の評価等が主な仕事です。

“相談”って例えばどんなことを聞いてくれるの?

例:「療育を受けたいけどどうしたらいい?」→申請の手続きの仕方や事業所等の紹介をさせていただきます。

やりがいってどんなこと?

色々なご家族と繋がることが出来ます。困り感がありながらもそれぞれに頑張っておられる姿を感じることができ、少しでもお役にたてたらと思っています。「聞いてもらいたかったんよー」そんな言葉がきかれるととても嬉しくなってしまいます。

早速、相談してみたいけど、どうしたらいい?

計画相談は相談支援わたぼうし・原田まで Tel 086-958-5571。その他いろいろな相談は各事業所でも受け付けています。